

安 企 画 第 64 号

平成 20 年 10 月 10 日

国土交通省道路局長 様

安平町長 瀧



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号による標記の件につきまして、別紙のとおり
提出致します。

(企画課企画調整係)

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道安平町

北海道は広大な面積の中に市町村が点在しており、特に地方では公共交通機関が発達していないことから、移動手段は車に依存せざるを得ない現状となっている。中期計画の策定にあたっては、効率性や効果などをこれまで以上に求めているが、その場合、利用者が多い都市部を中心に道路整備が行われ、反面、利用者が少ない地方では、いつまで経っても道路整備が進まないことは目に見えており、都市と地方の格差が更に広がることとなる。

都市部においても必要な道路整備はあると思うが、地方においても必要な道路整備があり、地方を切り捨てる道路行政とならないことを切に願う。本町は、今だ市街地に改良すら終えていない砂利道があり、そのような地方の現状を十分認識していただきたい。

また、道路特定財源については、課税の趣旨を逸脱することなく、道路財源の予算を最大限確保するとともに、既設道路の維持補修や北海道などの特殊事情である除雪については、毎年、多額の費用を要していることから、これら費用に対する補助制度（交付金制度）の創設を要望致します。

②－１地域の現状と抱える課題

○現状

■町道及び道道

道路整備が遅れている本町では、改良すら終えていない砂利道や未舗装の道路が市街地に残っており、町全体で 50 路線、総延長約 20 km の町道整備が必要となっている。

公共交通が発達していない地方にとって、車は生活必需品であり、住民に密着した生活道路である町道は、非常に重要な役割を担っているが、三位一体の構造改革以降の交付税の削減などから地方財政がひっ迫し、住民ニーズに答えきれていない現状となっている。

また、これまでに整備した町道や橋梁については老朽化が進んでいることから、道路管理者として適切な管理を行っていく必要があり、計画的な維持補修を行うための財源確保が必要となっている。

更に、北海道等の特殊事情である除雪については、維持補修費同様、毎年、多額の費用を要している。また、除雪業者においては、除雪機械の老朽化による機械の確保やオペレーターの確保が難しくなっており早晩、冬季間の交通確保が困難になる危機的な状況にあります。

尚、道道についても、通学路などの生活道路や近隣町への唯一のアクセス道路として利用されているが、老朽化や歩道の未整備など危険な箇所が多々あり、地域からの要望を受け、毎年、北海道へ要望を行っているが進んでいない。

○課題

- ・地方道路整備の財源確保
- ・維持補修費及び除雪費に対する補助制度（交付金制度）の創設

■国道

本町を縦貫する国道２３４号は、苫小牧港から道央及び道東方面への貨物輸送や通院など地域住民の生活や町の基幹産業である農産物や軽種馬の輸送などに利用され、経済・産業の振興、広域化に繋がる重要な路線となっている。今後は、整備中の北海道横断自動車道、夕張～十勝清水間が開通することにより、国道２３４号の交通量は更に増加し、果たす役割も大きくなることが予測される。

このような状況の中、大型車の割合が高い国道２３４号では、過去に大型車による死亡事故が発生しており、安心・安全なまちづくりを進める上で交通安全対策が急務となっており、特に遠浅地域住民から強く要望されている。

また、国道２３４号を経由した苫小牧東部開発地域遠浅地区には、道央及び道東へ大規模な電力供給を行っている変電所が立地しており、道内の電力需要の大きな役割を担っている。また、国道２３４号から町内安平駐屯地及び早来分屯地までの路線は、地震防災対策特別措置法に基づく緊急輸送道路の一時指定を受けるなど、いずれも国道２３４号を経由することから、本国道の果たす役割は非常に大きなものとなっている。

- ・国道２３４号拡幅による農畜産物等の輸送時間の短縮、救急患者の搬送時間の短縮による救命率の向上。
- ・市街地の優先整備（拡幅）と歩道の設置による交通安全対策の推進。
- ・災害時にも対応できる避難路及び緊急輸送道路としての整備。
- ・道道の整備

②－２地域の目指すべき将来像

北海道安平町

町総合計画においては、高齢者やしょうがい者が健康を維持・増進しながら、安心して暮らせる環境づくりなど基盤整備をはじめとする総合的な施策の展開を図ることとしている。また、産業では、立地条件を活かした産業の育成や企業誘致などを行うこととしており、これらに対応した、道路、上下水道、公共施設等の計画的な社会基盤の整備を行うこととしており、その根幹となる道路については、国道２３４号の拡幅と接続する町道等の整備を計画的に進め、地域福祉及び生活環境の整備、産業の振興など、地域住民の誰もが安心・安全に住み良い環境づくり・まちづくりを進めていくこととしている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道安平町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
・地域活力の向上 ・バリアフリー社会の形成（医療格差の改善） ・総合的な交通安全対策 ※国道の果たす役割は大きいため、重点事項は重複する。	・国道２３４号の拡幅及び歩道の設置	・アクセス向上による物流時間の短縮と輸送コストの低減 ・救急患者搬送時間の短縮と救命率の向上 ・安心、安全なまちづくりのための交通安全対策の推進 ・合併後の旧町間の連携強化及び連携事業の推進	（産業振興） （救急医療体制のネットワーク化） （交通安全対策） （合併市町村の一体化）